

教育目標

【自分づくり】社会に目を開き 「なりたい自分」の姿を描き 実現しようとする人

- 自ら考え、表現できる人（創造）
- 仲間とともに高め合える人（共生）
- 心身ともにたくましい人（健康）

学校だより 第17号

ひ ら く

平成28年 9月26日発行

須賀川市立第三中学校

TEL 73-2377

発行責任者：校長 高崎則行

次の生徒会の担い手決定

「明るく過ごしやすい学校創り」をめざして



9月20日（火）に生徒会役員改選立会演説会、引き続き投票が行われました。その結果、次の7名が当選し、23日（金）に任命書を交付しました。

生徒会会長	菊田 茉菜（まな 2年3組）
同 副会長	吉田 大晟（だいせい 2年3組）
同 副会長	宮本麻依子（まいこ 1年1組）
同 書記	遠藤 綜悟（そうご 2年4組）
同 書記	柏倉 嘉乃（よしの 1年4組）
同 会計	有馬 陽平（2年4組）
同 会計	小林あかり（1年3組）

※敬称略

立候補した生徒は、各々（おのおの）しっかりした抱負をもって立会演説会に臨んでいました。今後は、以下に引用する菊田茉菜・新生徒会長の所信に、それぞれの考えを寄り添わせながら生徒会活動を展開してくれるものと期待しています。

「私が立候補したのは、去年1年間より良い学校を作ろうと必死な先輩方の背中を見ながら活動してきて、その伝統を引き継いでいこうと思ったからです。

先輩方が『活発な学校創り』をしてくださったので、私はその要素を取り入れつつ、生徒会一同協力して『明るく過ごしやすい学校創り』をしたいと考えています。

そのためにまず、親しみやすい生徒会をめざしてあいさつ運動に力を入れます。自身としては、前期の反省を生かし、もっと声を出していきます。

次に目安箱の利用を活発にさせたいです。広い視野で周りを見て、様々な声に耳を傾けていきます。目安箱は学年ごとに設置してあるので気軽に利用してほしいと思います。」

左上の写真を撮（と）らせてもらうために校長室に来てもらったとき、抱負について「有言実行」の姿勢を貫きたいと異口同音（いくどうおん）に語ってくれました。特に、目安箱の活用は、全校生一人一人の協力が不可欠（ふかけつ）です。その難しさを、執行部の役員が一丸となって、協力者を増やしながら克服（にくふく）してもらいたいとの願いを込め、私はこう言いました。

「学校への意見や要望は生徒会総会で言うのではなく、その都度聞かせてください。皆さんは、生徒が心を同じくして活動しないと解決できない課題に集中して『より良い学校づくり』を進めてください。そして、その進行状況も校長先生に教えてください。」

右下の写真のようにポーズをとらせたら、すぐに全員同じポーズをとる様子に、早速（さっそく）チームワークの良さを感じます。この写真を眺めると、「了解しました」の声が聞こえてくるような気がします。



「コミュニケーションの大切さ」と「英語の楽しさ」を感じた8日間 齋藤好花さん、市青少年人材育成海外派遣事業に参加

須賀川市では、国際理解を深め、国際感覚を身に付けた人材の育成を目的に、中高生を対象にした青少年人材育成海外派遣事業を実施しています。派遣生は、前年度の文芸、音楽、体育等のコンクールや大会において優れた成績を収めた者の中から選考されます。本校からは、昨年度の田善顕彰版画展で最高位の田善賞を受賞した齋藤好花(すみか)さんが、6名の派遣生のサブリーダーとして8月3日(水)から10日(水)まで、8日間のオーストラリア研修視察に参加してきました。



9月17日(土)には産業会館で報告会が行われ、好花さんは、全体の進行役と旅行後半の報告を担当し、主に以下の様子について説明しました。

- ◇ 2泊3日のホームステイ
- ◇ レストランでの夕食
- ◇ オペラハウスの夜景
- ◇ セントラル駅
- ◇ ブルーマウンテン国立公園
- ◇ ファザーデール動物園

オペラハウス(左下の写真)では、「夜景の美しさは、夜の深さに比例する」という名言が思わず口からこぼれ、みんなから「カッコイイ!」と絶賛(ぜっさん)されたことや、エコーポイント展望台で「やっほーっ!」と叫んで周りの観光客全員が振り向いたというエピソードも紹介され、彼女ならではのユーモアを交えた報告に、他校の校長先生が「さすが!」と言いながら私に目配せをするほどの面白さでした。

また、旅行前半ではLorien Novalis Schoolという現地の学校の中高生との交流も行われ、学校文化や学生の気質(きしつ)の違いにも学ぶことが多かったようです。

好花さんは、8日間で一緒に行った派遣生の成長を実感し、それはそのまま自分の成長でもあったと振り返り、これからの自分の人生に大きな影響を与える旅になったと報告を締めくくりました。

最後に、この事業は、故安藤ツヤ氏による篤志寄付を財源に平成23年度から行われている事業であることをご紹介します。



本年度の第1回漢字検定合格者

(4級以上の合格者は第16号に掲載しています。)

- 5級 松谷好優(よしひろ)② 我妻大空(そら)①
橋本武英(たけひで)① 宮本麻依子①
相馬 涼(すず)① 橋本心寧(ここね)①
矢内ひなた① 山田彩乃①
渡辺咲菜(さな)① 樽川史弥(ふみや)①
芳賀美紅(みく)① 吉田 葵①
安藤遥南(はるな)① 中山勇牙(ゆうご)⑥
羽田海都(はた・かいと)⑥
- 6級 吉田智哉④
- 8級 柏原光汰④ 加藤全貴(ぜんき)④
坂田瑠奈(るな)④ 宮本裕子(ゆうこ)④
森合 翼④ 矢板七彩(なないろ)③
- 9級 大竹愛矢(あや)③ 近藤陸大(りくと)③
吉田優那(ゆうな)③ 安藤茉祐(まゆ)③
小林舞音(まお)③ 力丸菜乃花(なのか)③
成田 花③ 関根颯音(はやと)②
- 10級 菅野(かんの)ありあ③ 木賊 涼②
吉田梓珂(あすか)②

○に数字は学年。()内の数字は小学生の学年です。小学2年生から漢字検定にチャレンジし、合格するなんですよ! すごいですね!